



日本共産党 品川区議会議員 区政報告

のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

相次ぐ大災害

災害から学ぶ教訓は？

6月18日に大阪北部地震、9月6日に北海道胆振東部地震が発生し、多くの犠牲者を出しました。

犠牲になられた方に心からお悔やみを申し上げます。

大切なのは被害の教訓から何を学ぶのかということ。

危険なブロック塀の撤去へ急げ

土砂崩れを除くと今回亡くなられた方の多くがブロック塀や家具、大量の書籍の下敷きになっています。

ブロック塀などの倒壊により18名が亡くなった1978年の宮城県沖地震で危険性は明らか

かになっていました。

区の助成制度は生垣を設置するのと合わせてブロック塀を撤去する場合にしかでないのです。

ブロック塀の撤去のみや撤去とともにフェンス設置にも助成をすべきです。

2度と同じ犠牲を出さないために助成制度の拡充が急がれます。

29号線は防災にならない

区長は選挙で「防災のために特定整備路線をつくる」と発言しました。

しかし、29号線は防災にはなりません。それは糸魚川大火の

教訓からも明らかです。

飛び火が140mも飛び10か所から多発的に火災が広がりました。

20mの道路では飛び火を防ぐことはできませんし、両側で出火すればなんの意味もありません。

防災にならない29号線に固執するのは止め住宅耐震化など予防策の充実こそ必要です。

大阪と北海道の地震による死者の要因（土砂崩れを除く）

- ・ブロック塀の倒壊：大阪で2人
- ・家具転倒：大阪2人、北海道1人
- ・書籍の下敷き：大阪1人、北海道2人
- ・階段から転落：北海道1人

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、33歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

家具転倒防止助成をご利用下さい

最近の地震では負傷者の3割が家具の転倒などによるものです。

品川区にも家具転倒防止の助成制度があります。

高齢者等（左に対象世帯を列挙）の家具転倒防止助成は2万円を上限に器具の購入や取付け

費用が全額補助されます。区民税課税世帯は1割負担です。取り付けもやってくれます。

区役所の高齢者地域支援課や地域センターで申請して下さい。

その他の世帯は取り付け費用の助成のみあります。どちらもぜひご利用下さい。

家具の転倒による犠牲者は事前に予防することができます。

さらに利用しやすくするため

に必要な世帯に器具の無料配布と無料設置をすべきです。

すぐにでもできる対策もあります。倒れてきそうな家具の近くで寝ないなど家具などの配置を変えることで対処することもできます。

日頃からの対策が重要です。

高齢者等の家具転倒防止助成対象世帯

- (1) 65歳以上の方のみの世帯
- (2) 障害者手帳を所持する方のみの世帯
- (3) 65歳以上の方と障害者手帳を所持する方のみの世帯
- (4) 要介護3以上の65歳以上の高齢者のいる世帯
- (5) 2級(度)以上の障害者のいる世帯

防災にならない29号線は撤回を

区議会一般質問

10月25日 午後2時～

鈴木ひろ子区議

羽田低空新飛行ルート、23区最低の福祉改善、庁舎建て替え問題

10月26日 午後1時～

南恵子区議

待機児ゼロ、コミュニティバス、防災、9条改憲反対

区政懇談会

10月27日(土) 午後6時～

荏原第4地域センター

決算委員会に向け、現在の区政の状況を報告し、みなさんからご意見ご要望を伺います。お誘い合わせてご参加下さい。

法律相談

無料

11月6日(火) 午後6時30分～8時30分

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒にお話を伺います。できるだけ事前にご連絡下さい。Tel 3786-6674

日本共産党